



GLIDiC

完全ワイヤレスイヤホン

GLIDiC TW-5300

取扱説明書

かんたんガイド	4
お使いの前に	4
はじめに	5
パッケージの中を確認する	6
ペアリング (接続) する	7
通話をする	9
ANC/外音取り込み機能を使う	10
音楽再生/音量調整をする	10
電源を入れる/切る	11
ケース/イヤホンを充電する	12
再接続する/接続解除する	13
登録情報を削除したい (リセット)	14
その他の操作	15
2台の機器を同時接続する (マルチポイント)	15
Siri/音声コントロールを使う	16
音声の遅延を減らす (低遅延モード)	16
低音重視モード (Bass Sound Mode) を使う	16
イヤホンのバッテリー残量を確認する	17
スペック	18
LEDの見方	18
対応機器	19
仕様	19
動作時間	19

困ったときには	20
ペアリングができない.....	20
音声が届かない.....	22
イヤホンを充電できない.....	23
イヤホンの電源が入らない/切れない.....	23
ANC/外音取り込み機能が効かない.....	24
ピーという異音が鳴る.....	24
前項で解決しない場合.....	25
ご注意	26
安全上のご注意.....	26
電波についてのご注意.....	31
本製品・本書についてのご注意.....	32
お手入れについてのご注意.....	32
長くお使いいただくために.....	33
小形充電式電池のリサイクルについて.....	34
お客様窓口のご案内.....	34
保証規定.....	34

お使いの前に

最適な状態でお楽しみいただくために、耳にフィットするイヤピースを選んでください。

ベーシックタイプ



XSS



XS



S



M*



L

ショートタイプ (半透明)



XS



S



M

*: ご購入時、イヤホンに装着されています。

はじめに

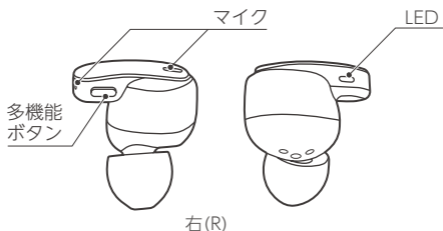
- 本製品をご使用の前に本書を必ずお読みください。
- 一般的なスマートフォンでの画面や手順を記載しています。お使いの機器や環境により、表示や手順が異なります。お使いの機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

注意

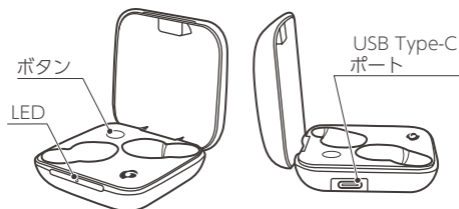
- 充電用ケースは、防滴/耐汗ではありません。ケースをぬらしたり、ぬれたイヤホンを収納したりしないでください。万一ぬれてしまった場合は、すぐに使用を中止してください。
- イヤホンは完全防水ではありません。水中に沈めたり水中で使用したりしないでください。また、マイクやスピーカーに水が付着すると音質が変化することがあります。その場合、乾いた布で拭くか、乾燥させてください。
- 一般的な除菌シートで本製品を拭き取ることができますが、全ての除菌シートを保証するものではありません。

パッケージの中を確認する

●イヤホン (左/右) ×1



●充電用ケース×1



※ケースの充電には、USB ACアダプタまたはUSBポート付きパソコン、およびUSB Type-Cケーブルが必要です。

●オリジナルイヤピース

ベーシックタイプ (XXS/XS/S/M/L) ×2

ショートタイプ (XS/S/M) ×2

●かんたんガイド/保証書×1

●GLIDiC紛失&延長保証パック 説明書/サービス規約×1

※GLIDiC紛失&延長保証パックのみに同梱されています。

ペアリング(接続)する

- ①ご購入後、初めて使う場合、充電用ケースのふたを開けて、左右イヤホンの下にある保護シートを取り除いてから、再度イヤホンを充電用ケースに収納してふたを閉める
- ②イヤホンが充電用ケースに収納されてふたが閉まっている状態から、ふたを開ける

※片側のみご使用の場合でも、初回はこの手順でペアリングしてください。

※充電用ケースにイヤホンを入れたまま、ペアリングを行ってください。



ふたを開けると、自動でペアリングモードに入ります。

- ③対応機器で、ペアリング操作をする

Fast Pairでペアリングする

Fast Pair対応のAndroid端末をお使いの場合、かんたんな操作でペアリングできます。イヤホンを対応機器に近づけBluetoothを[オン]にすると、ペア設定のメッセージが表示されるので、[接続]をタップしてペアリングを完了します。

＜スマートフォンでの操作例＞

※お使いの環境により、手順や表示が異なります。

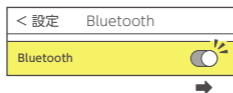
※Bluetooth設定画面で表示されるイヤホン名が、「Headset」と表示される場合があります。

1. ホーム画面で、[設定] をタップする

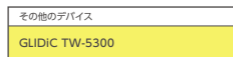
2. [Bluetooth] をタップする



3. [Bluetooth] を[オン]にする



4. [GLIDiC TW-5300] をタップする



ペアリングが完了すると、対応機器の画面に「接続済み」などと表示されます。

5. ペアリング要求のメッセージが表示されたら、[ペアリング] をタップする

※表示されないこともあります。



次のように表示されたらペアリング完了です。



2回目以降は、充電用ケースのふたを開けると、自動的に再接続されます。また、どちらか片方のイヤホンを取り出して充電用ケースのふたを閉めると、モノラルとしてお使いいただけます。

❓ ペアリングの手順を誤った

「登録情報を削除したい(リセット)」に従って、リセットしてからやり直してください。

❓ 使っている機器でのペアリングの手順がわからない

お使いの機器によって、手順は異なります。お使いの対応機種種の取扱説明書をご覧ください。

通話をする

多機能ボタンで操作します。

通話	左 (L)	右 (R)
電話を受ける	どちらかを1回押す	
通話終了/着信拒否	どちらかを長押し(2秒)	
マイクON/OFF(ミュート)	—	通話中に1回押す

<マイクON/OFF>

🔊 「マイク ON/OFF」と流れます。

また、片側のみのご使用时、左右どちらかのイヤホンを通話中に1回押すと、マイクON/OFFが切り替わります。

ANC/外音取り込み機能を使う

通話中、音楽再生中や待機中(接続中)に、多機能ボタンを押すたびに、ANC(アクティブノイズキャンセリング)と外音取り込み機能のON/OFFが切り替わります。

- ANC: 電車などの乗り物や冷蔵庫などの機械の騒音を低減できるため、よりクリアな音質で音楽などを聞くことができます。
 - 外音取り込み: ONにすると、イヤホンのマイクが周囲の音を取り込むため、例えばイヤホンで音楽を聞きながら小さな会話ができます。
- ※片側のみのご使用时、ANCおよび外音取り込み機能の変更はできません。

ANC/外音取り込み	左(L)	右(R)
<pre> graph TD A[ANC/外音取り込み] --> B[OFF] B --> C[ANC ON] C --> D[外音取り込みON] </pre>	1回押す	—

🔊 切り替えるごとに、「ノイズキャンセリングON → 外音取り込みON → 外音取り込みOFF」と流れます。

音楽再生/音量調整をする

多機能ボタンで操作します。

※お使いの機器やOSにより動作が異なります。

音楽	左(L)	右(R)
再生/停止	—	1回押す
曲送り ^{*1}	—	長押し(2秒)
曲戻し ^{*2}	長押し(2秒)	—

*1:曲送りは、次の曲の頭出しをします。

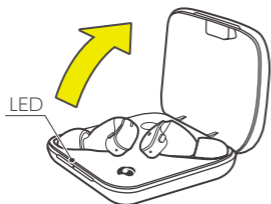
*2:曲戻しは、前(または再生中)の曲の頭出しをします。

音量	左(L)	右(R)
音量上げる	—	2回押す
音量下げる	2回押す	—

電源を入れる/切る

●電源を入れる

充電用ケースのふたを開ける



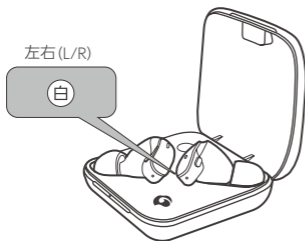
※充電用ケースのバッテリー残量がゼロの場合、イヤホンの電源は入りません。イヤホンをケースから取り出すと電源が入ります。

ふたを開けると、充電用ケースのLEDが、ケースのバッテリー残量に応じて、白で点滅します。

●電源を切る

イヤホンを充電用ケースに収納する

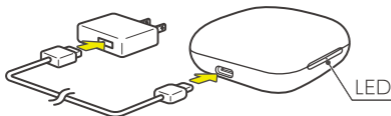
※イヤホンの多機能ボタンを10秒押すことでも、電源が切れます。



ケース/イヤホンを充電する

●充電用ケースを充電する

USB Type-Cケーブルを側面に接続する



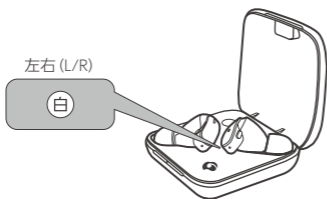
バッテリー残量に応じて、LEDが白で点滅し、満充電になると、LEDが消灯します。

※充電用ケーブルは同梱されていません。お持ちのUSB Type-Cケーブルをお使いいただくか、右記二次元コードの「交換用パーツ・充電用ケーブルはこちら」からご購入ください。



●イヤホンを充電する

イヤホンを充電用ケースに収納する

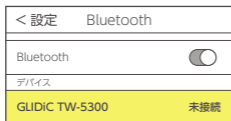


イヤホンの充電が始まります。

再接続する/接続解除する**●再接続する**

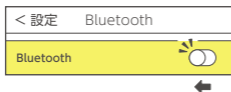
2回目以降は、充電用ケースを開けたときに自動的に再接続されますが、再接続されない場合、対応機器で以下の操作をします。

操作例：[設定] → [Bluetooth] の順にタップし、一覧で [GLIDiC TW-5300] をタップ

**●接続解除する**

対応機器で接続解除の操作をします。

操作例：[設定] → [Bluetooth] の順にタップし、[Bluetooth] を [オフ] にする

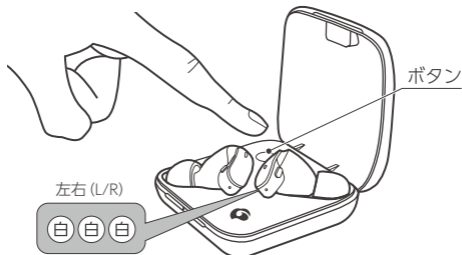


登録情報を削除したい(リセット)

イヤホンに登録されている機器の情報を削除したい場合や、動作が不安定な場合、リセットしてください。

①充電用ケースを開けた状態で、充電用ケースのボタンを5秒押す

※充電用ケースのバッテリー残量がゼロの場合、リセットできません。



左右イヤホンが白で3回点滅して消灯すると、リセット完了です。

②対応機器で、ペアリングを解除する (ペアリング済みの場合)

操作例: [設定] → [Bluetooth] → [GLIDiC TW-5300] で、[このデバイスの登録を解除] をタップ

**③対応機器と接続する場合、「ペアリング (接続) する」の
手順②以降に従ってペアリングする**

リセット後はイヤホンがペアリングモードに入るまで少し時間がかかります。ペアリングモードに入り、イヤホンのLEDがじんわり点滅し始めるまでお待ちください。

2台の機器を同時接続する(マルチポイント)

本製品には最大8台の機器を登録し、そのうち2台と同時に接続して待ち受けができます。例えばスマホを2台お持ちの場合、音楽を聞いているときに、もう1台のスマホにかかってきた電話を受けることができます。

● 2台同時接続の手順

① 1台目(初回)のペアリング手順

「**ペアリング(接続する)**」をご覧ください。

② 2台目以降のペアリング手順

②-1. イヤホンの待機中に、右または左イヤホンの多機能ボタンを長押しする(5秒以上)



左右イヤホンのLEDが白でじんわり点滅します。

▶▶「ペアリング」という音声が流れたあとに、サウンドが鳴ります。

②-2. 対応機器の設定画面でペアリング操作を行う

以降の手順は、1台目と同じです。

「**ペアリング(接続する)**」の手順②に従って、ペアリングしてください。

③ 2台同時接続する

最後にペアリングした機器とのみ接続され、それ以外の機器との接続は解除されます。解除された機器と再接続するには、「**再接続する**」に従ってください。

● 3台以上の対応機器間での切り替え手順

1. 接続を解除したい機器で、「**接続解除する**」に従って接続を解除する
2. 接続したい機器で、「**再接続する**」に従って再接続する

Siri/音声コントロールを使う

Siriや音声コントロールを搭載している機器をご使用時、音楽再生中や待機中(接続中)に多機能ボタンで本機能を使用できます。

※Siriが起動しない場合、iPhone/iPadの[設定]でSiriをオンにします。

音声コントロール	左 (L)	右 (R)
起動/終了	どちらかを4回押す	

音声の遅延を減らす(低遅延モード)

ゲームや動画視聴等のときに音声伝送の遅延を低減したい場合、音楽再生中や待機中(接続中)に本機能をONにします。

※片側のみご使用時は、本機能はご使用できません。

※本機能をONにすると、イヤホンのバッテリー残量の減りが早くなる場合があります。また、音が途切れることがあります。

低遅延モード	左 (L)	右 (R)
ON/OFF	3回押す	—

🔊 「低遅延モードON/OFF」と流れます。

低音重視モード(Bass Sound Mode)を使う

音楽再生中やスタンバイ中に本機能をオンにすると、重低音が引き立ちます。

低音重視モード	左 (L)	右 (R)
ON/OFF	—	3回押す

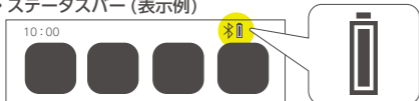
🔊 「ベース ON/OFF」と流れます。

イヤホンのバッテリー残量を確認する

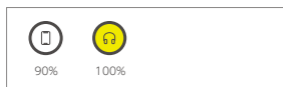
●スマートフォン/タブレットで確認する

※一部のスマートフォン/タブレットのみ。

- ステータスバー (表示例)



- ウィジェット/コントロールセンター (表示例)



LEDの見方

●イヤホン




動作	LED	
充電中		3秒間点灯
電源ON		じんわり1回点滅
電源OFF/タイムアウト*		じんわり1回点滅
ペアリングモード中		じんわり点滅
ペアリング完了		速く3回点滅
待機中(非接続中)		点滅
リセット完了		3回点滅

*: ペアリングモードに入ってから約3分経過後、および対応機器との接続が切れてから約3分経過後、タイムアウトして電源が切れます。




●充電用ケース

充電用ケースのふたを開けたときや充電中、充電完了時に、充電用ケースのバッテリー残量に応じて、点灯/点滅します。

・ふたを開けたとき

バッテリー残量	LED	
約 0 ~ 9%		5回点滅
約 10 ~ 29%		ゆっくり3回点滅
約 30% 以上		5秒間点灯

・充電中/充電完了時

バッテリー残量	LED	
約 0 ~ 29%		点滅
約 30 ~ 99%		ゆっくり点滅
約 100%		5秒間点灯

対応機器

Bluetooth機能を搭載しているスマートフォン・タブレット、その他音楽再生機能、通話機能を有するBluetooth搭載機器

仕様

使用温度範囲：5℃～35℃

●イヤホン本体

内蔵電池	：リチウムイオン電池 3.85V 35mAh
Bluetooth規格	：Version 5.3
通信距離	：約10m (出力：Class 2) *
対応プロファイル	：A2DP, AVRCP, HFP, HSP
対応コーデック	：SBC, AAC
対応コンテンツ保護	：SCMS-T
登録デバイス数	：最大8台
外形寸法	：約24.5 (W) × 22.5 (D) × 18.5 (H) mm

*: ご使用環境により異なります。

●充電用ケース

内蔵電池	：リチウムイオン電池 3.8V 200mAh
インターフェース	：USB Type-Cポート
外形寸法	：約53 (W) × 23.5 (D) × 53 (H) mm

動作時間

音楽再生時間	：約6時間 (充電用ケース使用時：約18時間)
通話時間	：約3時間
充電時間 (イヤホン)	：約1時間
(充電用ケース)	：約2時間

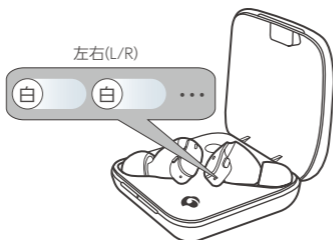
※工場出荷設定の場合。ご使用環境により異なります。

ペアリングができない

ペアリングができない場合、「登録情報を削除したい(リセット)」を行ってから、「ペアリング(接続)する」に従って、再度、ペアリングを行ってください。ペアリング時、以下の①～⑤を順番に確認してください。

※Bluetooth設定画面で表示されるイヤホン名が、「Headset」と表示されたりする場合があります。

①左右イヤホン(L/R)のLEDが白で点滅していますか？



じんわり点滅していない場合、イヤホンのバッテリー残量がゼロ、またはペアリングモードになっていません。

●バッテリー残量がゼロだと思われる場合

充電してください。

→ **「ケース/イヤホンを充電する」**

●ペアリングモードになっていないと思われる場合

じんわり点滅したあとに、イヤホンの電源がOFFになった場合も、以下の手順で再度ペアリングモードにしてください。

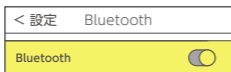
・初回のペアリング、またはリセット後のペアリング：いったん左右イヤホンの両方を充電用ケースに収納してふたを閉めてから、再度ふたを開けると数秒後、ペアリングモードになります。

・2台目以降のペアリング手順：

→ **「2台の機器を同時接続する(マルチポイント)」**手順②

※ペアリングモードは約3分で終了し、イヤホンの電源がOFFになります。

② Bluetoothがオンになっていますか？



対応機器のBluetooth設定画面で、オンになっていることを確認してください。

③ 「GLIDiC TW-5300」が表示されますか？



対応機器のBluetooth設定画面で、表示されていることを確認してください。表示されない場合、以下を行ってください。

- ・イヤホンを対応機器の近くに置く
- ・無線LAN、電子レンジ、ほかのBluetooth機器などの電波が飛んでいない環境で操作する
- ・対応機器がBluetoothデバイスを検出/検索可能な状態になっているか、対応機器のBluetooth設定画面で確認する

④ 「GLIDiC TW-5300」を選択して、以下のように接続済みになりますか？



選択しても接続できない場合、イヤホンをいったん充電用ケースに収納し、ふたを閉めて対応機器のBluetooth設定をオフにしてから、ペアリング操作をやり直してください。

⑤ 上記を全て行っても、接続に失敗しますか？

登録情報を全て削除してから、ペアリングをやり直してください。

→ [「登録情報を削除したい\(リセット\)」](#)

音声が聞こえない

●イヤホンの電源は入っていますか？

電源が入っていないと思われる場合は、いったん左右イヤホンの両方を充電用ケースに収納してふたを閉めてから再度取り出し、イヤホンのLEDが点滅することを確認してください。

●Bluetooth接続されていますか？

< 設定 Bluetooth	
Bluetooth	<input type="checkbox"/>
"XXXX"という名前で検出可能です。	
自分のデバイス	
GLIDiC TW-5300	接続済み

表示例

対応機器のBluetooth設定画面で、「GLIDiC TW-5300」と接続されていることを確認してください。

接続されていない場合、接続してください。

→ [「再接続する/接続解除する」](#)

「GLIDiC TW-4100」がBluetooth設定画面に表示されていない場合、登録・接続してください。

- ・初回のペアリング、またはリセット後のペアリング
→ [「ペアリング \(接続\) する」](#)
- ・2台目以降のペアリング手順
→ [「2台の機器を同時接続する \(マルチポイント\)」](#) 手順②

●対応機器の音量は十分ですか？

対応機器の音量設定を確認してください。

●聞こえないのは片方のみですか？

左右イヤホンの両方をご使用時に、片方から聞こえない場合、いったん左右イヤホンの両方を充電用ケースに収納してふたを閉めてから、再度取り出してください。これを行っても聞こえない場合、登録情報を削除してから、ペアリングをやりなおしてください。

- [「登録情報を削除したい \(リセット\)」](#)
- [「ペアリング \(接続\) する」](#)

イヤホンを充電できない

●充電用ケースは充電済みですか？

充電してください。

→「[ケース/イヤホンを充電する](#)」

●イヤホンを正しく収納し、ふたを閉めていますか？

●イヤホンの充電ポートが汚れていませんか？

汚れが付着している場合は、乾いた布で軽く拭き取ってください。

イヤホンの電源が入らない/切れない

充電用ケースのふたの開閉で電源ON/OFFします。

※多機能ボタンを10秒押すことでも、電源が切れます。

→「[電源を入れる/切る](#)」

ANC/外音取り込み機能が効かない

●全ての騒音が低減したり全ての外音が聞こえたりするわけではありません。

音楽の音量が大きいときに外音が聞こえないといったことがあります。

●外音取り込みのON中、かすかに「サー」という音が聞こえます。

ピーという異音が鳴る

イヤホンからピーという異音が鳴る場合、左イヤホンの多機能ボタンを押してANC/外音取り込み機能をOFFにしてください。

→ [「ANC/外音取り込み機能を使う」](#)

●OFFにすると異音が止まる場合、ハウリングが発生していたと考えられます。ハウリングは、イヤホンのスピーカーから出る音をマイクが拾った際に異音が発生する現象で、故障ではありません。マイクを手などで押さえると発生しやすくなりますので、マイクを覆わないようにしてください。また、イヤホンを充電用ケースに収納する際にも発生することがあります。

ANC/外音取り込み機能をOFFにしてから収納してください。

●OFFにしても異音が鳴る場合、当社[お客様窓口](#)までご連絡ください。

前項で解決しない場合

以下のWebサイトにアクセスし「TW-5300」を検索すると、本製品に関するよくあるご質問をご確認いただけます。



<https://softbankselection.jp/>

>Support

>よくあるご質問




>イヤホン・ヘッドホン

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。また、本製品は、家庭や一般的な事業所での用途でのみご使用ください。本製品の故障や誤動作により、人身事故や火災、その他の損害が生じる恐れがある場合、使用しないでください。

●絵表示の意味

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。







 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される」内容です
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} の発生が想定される」内容です

*1:重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2:軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

*3:物的損害：家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

●禁止・強制的絵表示の説明

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

⚠ 危険

火災、やけど、けが、感電などを防ぐために



禁止

- 同梱品は、本製品以外で使用しない
- 次の場所で使用したり保管したりしない
 - ・ 火気や暖房器具の周辺、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など、高温になる場所や熱のこもりやすい場所
 - ・ 風呂場やキッチン、加湿器のそばなど、水分や湿気の多い場所、結露が起きる場所
 - ・ ほこりの多い場所
 - ・ ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所
 - ・ こたつの中、布や毛布などをかぶせた状態
 - ・ 寝具の上
 - ・ ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所
 - ・ 乳幼児の手の届く場所
 - ・ ペットの近く
- 電子レンジやIH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしない
- ケーブルのコードが傷んだら使用しない
- 雷が鳴り出したら、コンセントとつながった本製品やケーブルに触れない
- 砂や土、泥をかけたり、じかに置いたりしない。また、砂などが付着した手で触れない
- 鋭利な物（釘など）で刺さない。硬い物（ハンマーなど）で叩いたり、落下させる、重い物を載せる、踏みつける、投げつけるなど、強い力や衝撃、振動を与えない。また、火の中に投入したり、熱を加えたりしない
発火、破裂、発熱、漏液の恐れがあります。
- コネクタやポートに、導電性異物（ネックレスやヘアピン、鉛筆の芯、金属製ストラップなど）を接触させたり、これらと一緒に持ち運んだり保管したりしない。ほこりを内部に入れない
発火、破裂、発熱、漏液の恐れがあります。
- コンセントにつないだ状態で、コネクタやポートをショートさせたり、手や指など身体の一部で触れたりしない



水濡れ禁止



濡れ手禁止

- イヤホンに雨・水以外のジュース、海水、ペットの尿、化粧水、石鹸水などの液体や、高温または低温の水をかけない。また、これらの液体や水に浸けない

雨・水が付着した場合、乾いた布で拭いてから充電用ケースに収納してください。これら以外の液体が付着した場合、使用を中止してください。

- 充電用ケースは防滴/耐汗ではありません。汗、雨、水、海水、ペットの尿、化粧品、石鹸水、その他の薬剤などで濡らしたり、濡れた手で扱ったりしない。また、花瓶や植木鉢、コップ、化粧品など、液体の入った容器の近くに置かない

万一濡れた場合、使用を中止してください。



分解禁止

- 分解、改造をしない



指示

- 使用中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変形、破損、芯線露出、断線などの異常がみられた場合は、すぐに使用を中止する

異常発生後、本製品を修理しないでください。コネクタやポートがショートする恐れがあります。

- バッテリーが漏液したり、異臭がしたりするときは、すぐに使用をやめて火気から遠ざける

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの恐れがあります。

- 本製品は、5℃～35℃の環境で使用する

対応機種の使用温度範囲については、ご使用の対応機種の取扱説明書をご覧ください。

- アダプタやケーブルを抜き差しする場合、ケーブルを引っ張るなど無理な力を加えず、接続するポートに対してまっすぐ確実に抜き差しする

- 長時間充電が完了しない場合、充電を中止する

過充電の恐れがあります。



電源プラグを抜く

- 本製品内部やコネクタに異物などが付いた場合、ケーブル等を本製品から抜いて、すぐに使用を中止する
- お手入れの際は、ケーブルを本製品から抜く

注意

火災、やけど、けが、感電などを防ぐために _____



指示

- 本製品を継続して使用する場合や充電中は、温度が高くなることがあるので注意する。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないように注意する
- お手入れの際は、消毒液や水分が隙間、充電ポート、マイク、スピーカ部に入らないようにする

失明や皮膚傷害などを防ぐために _____



指示

- 本製品が破損した際、破損した鋭利な物に注意する。また、製品内部の物質などが漏れた場合、顔や手などの皮膚や衣類に付着しないようにする。万一付着した場合、すぐにきれいな水で洗い流してください。目や口などに入った場合、すぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の診療を受けてください。
本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。
- 本製品の使用中に、気分が悪くなったり、皮膚に異状が生じた場合、すぐに使用を中止し、医師の診療を受ける

けが、故障などを防ぐために

禁止

- **走行中、運転者がスマートフォンなどを手で持って、通話や操作したり、ディスプレイを注視したりすることは法律で禁止されています**
運転中以外でも踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険が生じる場所では使用しないでください。
- **子供が使用する場合、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使い方をさせない**
- **直射日光が長時間当たる場所には置かない**
製品の変形・変色や、火災などの原因となります。
- **ケーブルを無理に引っ張ったり、折り曲げたり、対応機種などに巻き付けたりしない**



指示

- **ケーブルを接続する際は、向きに注意し、ゆっくりと奥まで差し込み、接続部に無理な力を加えない。取り外す際は、必ずコネクタを持って、ひねらずまっすぐ抜く**
ポートが曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻して使用するのもやめてください。
- **充電用ケース等を開閉する際は、指などの身体の一部を挟まないよう注意する**
- **本製品のイヤホン部、充電用ケースに磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認する**

難聴などを防ぐために

禁止

- **大音量にしたり、長時間、連続使用したりしない**
使用する前に、対応機種の音量を下げてください。

電波についてのご注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でだけ使用できます。
- 本製品は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - ・産業・科学・医療用機器
 - ・工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の無線局
 - 構内無線局(免許が必要な無線局)
 - 特定小電力無線局(免許が必要でない無線局)
 - ・アマチュア無線局(免許が必要な無線局)
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変更するか、使用を中止してください。
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、ソフトバンクセレクトお客様窓口までお問い合わせください。

警告

指示

- 病院や航空機内などでの使用については制限があるため、各医療機関または各航空会社の指示に従う。また、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電源を切る電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
- 本製品の電波/磁石で医療機器(ペースメーカーなど)や電子機器に影響を及ぼす恐れがあります。詳しくは、各医用電気機器メーカー、または販売業者にご確認ください

本製品・本書についてのご注意

- 本製品は日本国内で使用してください。日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、本製品に関し、日本国外への技術サポート、アフターサービスなどは行っておりません。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 本製品を運用した結果の他への影響については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品および本書は、改良などの諸事情により予告なく変更する場合があります。
- GoogleおよびAndroidは、Google LLCの登録商標または商標です。
- USB Type-CはUSB Implementers Forumの商標です。
- Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、SB C&S株式会社はライセンスに基づき使用しています。
- 記載されている会社名、ブランド名、システム名、製品名は一般に各社、個人の登録商標または商標です。

お手入れについてのご注意

本製品をお手入れする際、以下についてご注意ください。

- お手入れの前に、ケーブルを充電用ケースから抜いてください。
- イヤホンや充電用ケースの汚れは、乾いた布または除菌シートで拭き取ってください。
- イヤホンは防滴ですが、お手入れの際、消毒液や水分が隙間、充電ポート、マイク、スピーカ部に入らないようにしてください。
- 充電用ケースは防滴ではないため、濡らさないでください。
- イヤホンの隙間、充電ポート、マイク、スピーカ部や、充電用ケースが万一濡れた場合、乾いた布で拭くか、乾燥させてください。

長くお使いいただくために

イヤホンおよび充電用ケースに内蔵されているリチウムイオン電池は、使用したり、日数が経過するにつれ、使用可能時間が短くなります。十分に充電しても使用可能時間が半分以下に低下した場合、新しく製品をご購入ください。使用方法や環境によりご使用できる期間は異なりますが、長期間使用しない場合、次の方法で保管すると、より長くお使いいただけます。

- ・ 満充電の状態や、バッテリー残量ゼロの状態で、長期保管しないでください。
- ・ 3ヵ月ごとに充電用ケースを開けてみて、イヤホンのLEDが点滅することを確認してください。点滅しない場合、数十分間充電してください。

小形充電式電池のリサイクルについて

本製品には、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。本製品にはリチウムイオン電池が内蔵されているため一般のゴミとして廃棄できません。製品寿命等により、処分（リサイクル）する場合は、ソフトバンクセレクションお客様窓口までご連絡ください。



Li-ion

お客様窓口のご案内

製品に関することは、以下よりお問い合わせください。

ソフトバンクセレクションお客様窓口



e-mail : sbsinfo@cs-customer.jp

販売元：SB C&S株式会社

〒105-7529

東京都港区海岸一丁目7番1号



保証規定

※GLIDiC紛失&延長保証パックについては、同梱の「GLIDiC紛失&延長保証パック 説明書/サービス規約」もご覧ください。

https://glidic.jp/warranty/glidic_warranty.pdf